

2019年度 脳性まひ児療育関係職種対象講習会

1.主 催	大阪発達総合療育センター 共催:アジア小児ボバース講習会講師会議(ABPIA)
2.内 容	本講習会では「脳性まひ児の生活支援 -多職種によるチームアプローチ-」を主題とし、 講義・実技・事例検討を通して、以下の項目についてそれぞれの現場で実践できることを目標とします。 「ボバース概念とチームアプローチの重要性」「脳性まひ児の生活障がいとは」「子どもの身体の動きを学ぶ」 「座位・立位・歩行の援助方法」「目と手の使い方の援助方法」「日常生活動作の援助方法(更衣・排泄・書字)」 「食べる機能について学ぶ」「食事の援助方法」「脳性まひ児の学習支援」 「環境調整①:器具・自助具」「環境調整②:車椅子・補装具」「保育所・幼稚園・学校との連携」「事例検討」
3.講 師	鈴木 恒彦 (ABPIA 専任講師, 大阪発達総合療育センター センター長, リハビリテーション・整形外科医師) 黒澤 淳二 (ABPIA 専任講師, 大阪発達総合療育センター 作業療法士)
4.受講対象者	脳性まひ児の療育に携わる教諭, 保育士, 看護師, 言語聴覚士, 歯科衛生士, 保健師, 指導員など (理学療法士, 作業療法士, 医師を除く)
5.会 場	大阪発達総合療育センター 5階地域交流ホール 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21
6.期 間	平成31年 8月19日(月)～ 8月23日(金) 5日間
7.受講費	35,000円(宿泊費, 食費は含みません)
8.定 員	40名程度(申し込み多数の場合は、選考のうえ決定いたします)
9.申込方法	E-mailで お申込みください。 宛先『kensyu@osaka-drc.jp』 件名『療育職種申し込み』とし、 『氏名, 職種, 経験年数, 所属, 連絡先住所・電話番号・事例検討での検討希望の有無』をご送信ください。 * 送信後1週間以内に受付完了メールを返信します。ご確認ください。 受講申込締め切り: 2019年 5月10日(金) * 受講の可否は5月17日までにご連絡いたします。 ※講習会では各日(最終日除く)、受講者持ち込みのビデオを用いた事例検討を行う予定にしています。 可能であれば各現場でのお子さんのビデオ(食事・排泄・更衣などの日常生活動作や移動・移乗の場面など)を、「援助方法に難しさがある場面」・「お子さんの普段の様子がわかるような場面(床上の姿勢や車椅子座位)」にわけて10～15分程度に編集していただきたいと考えています。